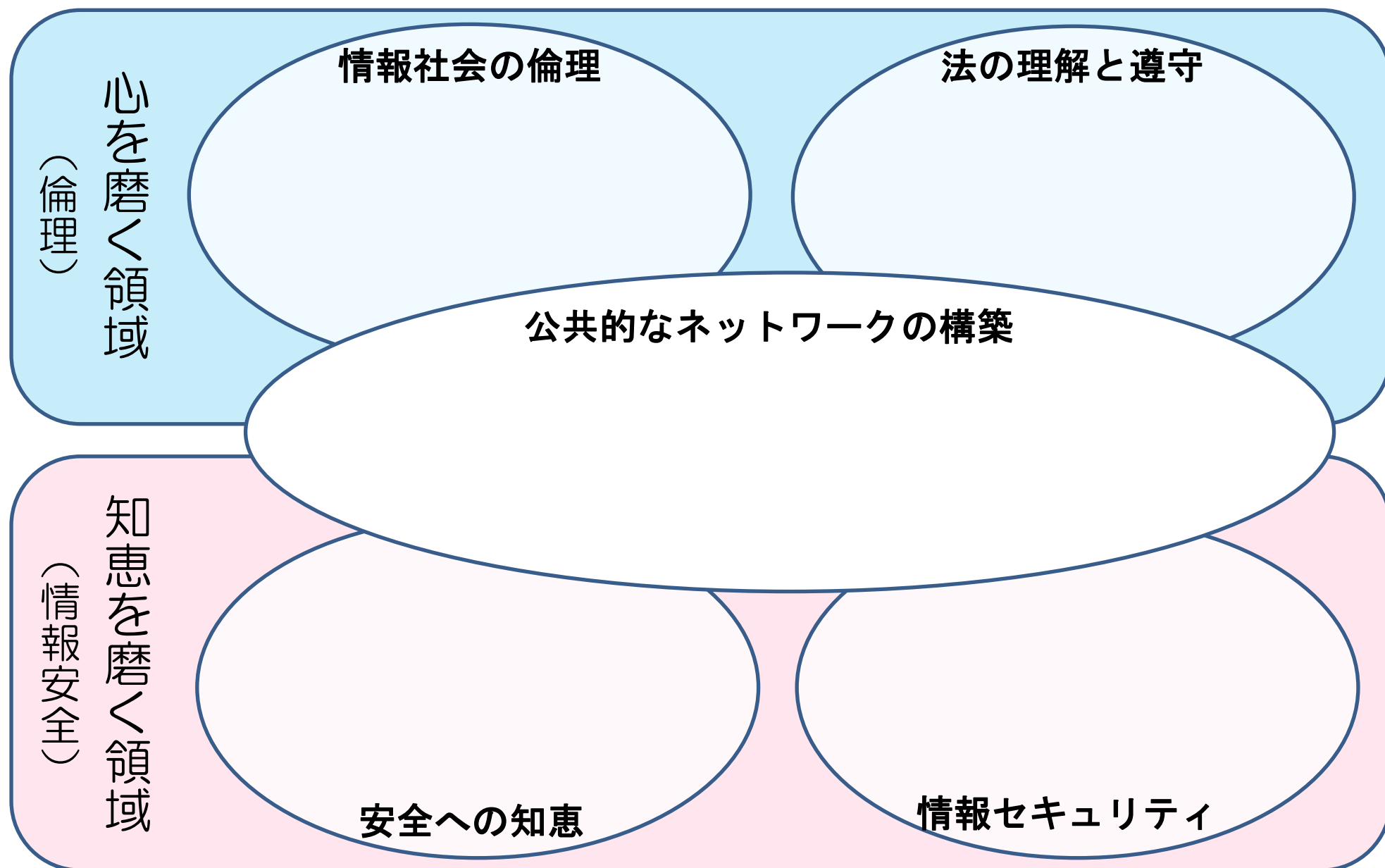


# 情報モラル教育 2 領域 5 分野



この表は、情報モラルの小中高一貫のモデルカリキュラムの内容を示したもののうち、小学校の部分を抜粋したものです。  
詳細は、以下をご覧ください。

文部科学省委託 情報モラル教育推進事業

「情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～指導の手引き」 p. 22～23

[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2016/06/07/1368445\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/06/07/1368445_2.pdf)

## 情報モラル指導モデルカリキュラム表

領域	分野	学年	小学校1～2年	小学校3～4年	小学校5～6年
心を磨く領域	情報社会の倫理	a	a1～3 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
			a1-1 約束や決まりを守る	a2-1 相手への影響を考えて行動する	a3-1 他人や社会への影響を考えて行動する
		b	b1-1 情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
			b1-1 人の作ったものを大切にすることを	b2-1 自分の情報や他人の情報を大切にする	b3-1 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する
	法の理解と遵守	c	c2～3 情報社会でのルールやマナーを遵守できる		
			c2-1 情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを知り、守る	c3-1 何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない	c3-2 「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する
				c3-3 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない	
	公共的なネットワーク社会の構築	i	i2～3 情報社会の一員として、公共的な意識を持つ		
			i2-1 協力し合ってネットワークを使う	i3-1 ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	
	知恵を磨く領域	安全への知恵	d	d1～3 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	
d1-1 大人と一緒に使い、危険に近づかない				d2-1 危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	d3-1 予測される危険の内容がわかり、避ける
d1-2 不適切な情報に出合わない環境で利用する				d2-2 不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	d3-2 不適切な情報であるものを認識し、対応できる
e			e1～3 情報を正しく安全に利用することに努める		
			e2-1 情報には誤ったものもあることに気づく	e3-1 情報の正確さを判断する方法を知る	
				e2-2 個人の情報は、他人にもらさない	e3-2 自他の個人情報を、第三者にもらさない
f			f1～3 安全や健康を害するような行動を抑制できる		
			f1-1 決められた利用の時間や約束を守る	f2-1 健康のために利用時間を決め守る	f3-1 健康を害するような行動を自制する
					f3-2 人の安全を脅かす行為を行わない
情報セキュリティ			g	g2～3 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る	
	g2-1 認証の重要性を理解し、正しく利用できる	g3-1 不正使用や不正アクセスされないように利用できる			
	h	h3 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる			
		h3-1 情報の破壊や流出を守る方法を知る			